

咲き乱れる花々の宝庫でもある出羽富士へ

鳥海山

実施日 2017年7月22日(土)～23日(日)

天候 豪雨

リーダー 渋谷 賢寿

参加者 島本陳重、石附智江、渋谷京子、
中村友子、石原勝正、宇野輝代、
徳山敬子、濱田優美子 計9名

費用 JR24,500円 マイクロバス
3,600円 鳥海荘7,250円

合計35,350円

タイム 秋田・山形付近の集中豪雨のため行動不能

残念ながら現地にもまで赴きながら秋田地方を襲った集中豪雨の為山行は中止になりました。

この集中豪雨は350mmの雨で雄物川の氾濫を招き大仙・由利本荘・仙北の3市25,000人の避難指示、96,000人の避難勧告を大災害になるのですが、これは後でTVなどの報道で知る事で、確かに新幹線が米沢を過ぎる頃と送迎バスが鳥海荘に向かう車中で遭遇した強烈な豪雨はとても登山が出来る様な雨の降り方ではありませんでした。

そこで鳥海荘に到着後ロビーでスマホの等の情報に基づき全員で話し合い、翌日の登山の中止を決めました。

しかし部屋割りも終え一段落してからは時折強い雨が降る程度で

明日もこの程度なら登れるかもと思わせる振り方でした。

夕食後再度集まり翌日からの計画を話し合うことにしました、選択肢としては計画を一日延長して計画日の翌日に登頂、登山は諦め秋田の温泉で翌日の一泊をする。

翌日真っ直ぐに帰京する…等を話し合っている最中、TVで近隣の町村の避難指示と奥羽本線・羽越線・秋田新幹線の不通がテロップ表示されたのです。交通機関の不通は翌日に成っても続き、動いている交通機関は由利高原鉄道鳥海山麓線だけでこの鉄道で着ける羽後本荘に行ってもそこから連絡する羽越線が不通と言う訳で鳥海荘を取り巻く鉄道はすべて不通に成って仕舞ったのです、そこでやむを得ずマイクロバス32,400円也を呼んで新庄駅まで行き帰京と相成りました。

台風と違い急速に発達した雨雲で事前の予測が難しかったのは有ったのですが参加者から山行前日の午後に山行の一日日延べを提案された事実も有ります、中止と実行の判断の難しさをしみじみ感じた山行でした。

皆さんの理解を頂き笑顔で解散出来たことが唯一の救いです、有り難う御座いました。

(記・渋谷 賢寿)